

# 国語科学習指導案

日時 平成26年11月21日(金) 公開授業①

学校 田野畑村立田野畑小学校

学年 2年生 25名

場所 2年生教室

指導者 佐々木 由美子

- 1 単元名 大すきなところをしょうかいしよう  
教材 「お手紙」 光村図書2年下

## 【単元で育てたい能力】

- 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。(読ウ)
- 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめて発表すること。(読オ)
- 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。(読カ)

か  
か  
わ  
り  
あ  
い

## 【単元を貫く言語活動】

「ふたりはともだち」シリーズを読んで、大すきなところをしょうかいしよう。

## 2 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として『ふたりはともだち』シリーズを読んで、大すきなところをしょうかいすることを位置づけた。この言語活動は、登場人物の行動に着目して物語を読み、大好きなところをカードに書き、紹介するものである。カードの中には、大好きなところとそのわけを書く。シリーズ作品をたくさん読み、紹介カードを書くことで、中心教材「お手紙」とシリーズの他の作品や自分の経験と結び付けて自分の思いをまとめて紹介することができる。よって、指導事項「オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。」に迫ることができる。また、シリーズ作品を読むことで、シリーズを通して描かれている登場人物の行動や、ストーリーのつながりに気付くことによって、解釈の手がかりが多様に得られるため、一つの作品を精読する以上に、場面の様子について想像を広げて読むことができる。

## 3 単元について

### (1) 児童について

児童は、「スイミー」や「黄色いバケツ」において、時間や事柄の順序に気を付けて話の大体をとらえ、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む学習をしてきた。児童は、登場人物が「したこと」や「言ったこと」に着目して、登場人物の気持ちや場面の様子をとらえることができるようになってきている。しかし、物語の展開に即して読み、登場人物の行動や会話に着目して好きなところを選んだり、自分の経験と結び付けて好きなわけを述べたりするまでには至らなかった。

また、読書の習慣が身に付いているが、楽しんで読書をしている児童、文章を読むことが苦手で挿絵だけ見ている児童というように、読書の実態は2極化している。

学級全体としては、どの学習も意欲的に取り組む児童が多い。しかし、QUの結果では、学校生活の様々な場面は、言葉が足りないために伝えたいことが相手に伝えられなかったり、自分のことだけを考えた行動や発言が見られたりする。友だちとのかかわりの中で、相手の考えや発表をきちんと聞き、認める場を意図的に設定することが大切だと考える。

### (2) 教材について

「お手紙」は、アーノルド＝ローベル作の「ふたりはともだち」シリーズの中の1つの作品であり、児童にとって身近な生き物であるかえるやかたつむりなどを登場人物にした物語である。主な登場人物であるまがえるくんとかえるくんの二人が、お手紙を通してお互いが相手のことを大切に思っていることを確かめ合うという心温まる作品である。二人の友情は、シリーズを通して描かれており、同一人物の行動に着目しやすくなる。そのため、児童が登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むのに適した教材である。

### (3) 指導にあたって

指導にあたっては、第一次では、児童に教師が作成した紹介カードを提示することで、「ふたりはともだち」シリーズを読んで大好きなところを見つけて紹介カードに書くという単元のゴールをイメージさせたい。

第2次においては、教科書教材である「お手紙」について、登場人物の行動や会話を整理し、大すきなところを紹介できるようにする。

第3次では、並行読書してきた自分が選んだ他のシリーズ作品についても同様に紹介できるようにする。

また、学校の図書館だけでなく地域の図書館との連携を図り、児童が同一シリーズの本を手に取り、本に浸る時間を十分確保できるように、たくさんの本を用意する。

## 2 単元の目標と評価規準

	目 標	評 価 規 準
国語への 関心・意欲・態度	物語に描かれている世界に浸りながらシリーズ作品を読み、その特徴に気付いたり、おもしろさを味わったりしようとすることができる。	自分の大すきな作品に対する思いが伝わるように、物語の紹介をすることを通して、シリーズ作品を読む楽しさを味わおうとしている。
読む能力	シリーズに共通する登場人物の行動や会話に着目して、想像を広げながら読むことができる。	登場人物の行動や会話に着目して想像を広げて読んでいる。
	物語の大好きなところについて、自分の経験や他のシリーズ作品の読書体験と結び付けて紹介することができる。	物語の大好きなところについて、自分の経験やシリーズ作品の読書体験と結び付けて紹介している。
言語についての 知識・理解・技能	言葉には語句による意味のまとまりがあることに気づくことができる。	言葉には語句によるまとまりがあることに気付いている。

3 単元の指導計画（全 11 時間）

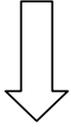
【指導過程】

【主な活動】と【習得させたい力】

【単元を貫く言語活動】

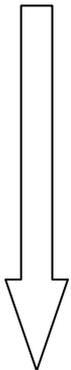
第1次

○単元のねらいを知り、  
関心を高める。



第2次

○中心教材「お手紙」と  
「ふたりはともだち」シ  
リーズを読んで、紹介の  
準備をする。



第3次

○書いた紹介カードを  
発表する。

【主な学習活動】

- ①「ふたりはともだち」シリーズの中の「はるがきた」「なくしたボタン」「すいえい」の読み聞かせをする。  
・読み聞かせの感想をペアで発表し合う。【認めあい】
- ②お手紙を読んで、教師の大好きなところの紹介を聞き、学習の見通しをもつ。

【習得させたい力】

- 中心教材と関連図書の読み聞かせを聞き、学習への関心を高めること。
- 作品間の共通性や関連性を確かめること。

【主な学習活動】

- ③「お手紙」を読んで、ふたりが玄関の前に座っている2枚の挿絵に着目して、出来事のつながりをつかむ。  
・あらすじをペアで確かめ合う。【伝えあい】
- ④登場人物の会話と行動を整理する。  
・会話と行動を整理して、登場人物を紹介し合う。【伝えあい】

- ⑤「お手紙」の中で自分の好きなおところを見つけながら読む。  
・好きなおところを発表し合う。【認めあい】

- ⑥「お手紙」の中で、大好きなおところとそのわけを紹介し合う。(本時)  
・大好きなおところについて、根拠を明確にして発表し合う。【認めあい】

- ⑦シリーズの中で紹介する作品を選び、大好きなおところを決める。  
・お話を選び、大好きなおところを決め、お互いに確かめる。【認めあい】

- ⑧大好きなおところとそのわけを紹介カードにまとめて、発表の準備をする。

【習得させたい力】

- 登場人物の会話と行動に着目して、想像を広げて読むこと。
- シリーズ作品のおもしろさに気付き、楽しんで読書すること。

【主な学習活動】

- ⑨⑩書いたカードを紹介し合う。  
・書いたカードを紹介し合い、お互いのよさについて交流し合う。【高めあう】

- ⑪友達が紹介した作品を読み、学習全体を振り返る。

【習得させたい力】

- 友達の発表を聞き、友達と似ているところや違うところに気付くこと。
- 友達が紹介した作品へ関心を持ち、読書への意欲を高めること。

並  
行  
読  
書

「ふたりはともだち」シリーズを読んで、大好きなおところをしようかいしよう。

4 本時の指導 (6/11 時間)

(1) ねらい

「お手紙」の大好きなところを、自分の経験やシリーズ作品の読書体験と結び付けて紹介することができる。

(2) 本時における人とかかわりあう活動の視点

「お手紙」の大すきなところとそのわけを発表し合い、互いの考えのよさを認め合えるようにしたい。

(3) 展開

	学習活動	指導の留意点 (手立て) 留意点○ 評価◎ かかわりあい【 】
導入 3分	1. 前時までの学習を想起する。 2. 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">             「お手紙」の中で、大好きなところを紹介しよう。           </div>	○前時までに選んだ自分の好きなところを想起できるようにする。 ○全文を掲示し、自分が選んだ場所と他の児童が選んだところが一目でわかるようにする。 ○本時では、これまで選んできた好きなところの中から、大すきなところを選ぶことを確認する。
展開 40分	3. 学習課題を解決する。 (1) 学習の見通しを持つ。 (2) 「お手紙」を読む。 (3) 大好きなわけを考えて紹介カードに書く。 (6) 紹介カードにまとめる。 (7) 発表の仕方を確かめて練習する。 (8) 紹介カードを発表する。 ・ペア ・全体	○教師が作成した紹介カードをもう一度見て、学習の見通しが持てるようにする。 ○前時までに選んだ好きなところの中から、大好きなところを選んで音読する。 ○紹介の仕方の模範を示す。 <b>【伝えあい】お互いの好きなところについて、相手がなぜそう思ったのか興味を持って伝えあう。</b> <b>【認めあう】お互いの好きなところや好きなわけを聞き、様々な考えや感じ方を認めあう。</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <b>【評価】</b>            ◎物語の好きなところについて、自分の経験やシリーズ作品の読書体験と結び付けて紹介している。(ワークシート, 発言)         </div>
終末 5分	4. 本時の学習を振り返る。 5. 次時の学習内容を確認する。	○次時は、シリーズの中で紹介する作品を選んで好きなところを決めることを確認し、意欲を高める。